

ICOM京都大会1周年記念シンポジウム

SDGsと博物館

2019年9月に「文化をつなぐミュージアムー伝統を未来へ」をテーマに、120の国と地域から4697名の博物館関係者が参加したICOM京都大会2019開催1周年を記念して、シンポジウム「SDGsと博物館」を開催します。



日時 2020(令和2)年9月26日(土) 13:30～

会場 京都国立博物館講堂

定員 80名(無料 事前申込先着順 詳細は裏面参照)

主催: ICOM日本委員会、日本博物館協会、京都国立博物館

後援: 京都府、京都市、京都市教育委員会、京都市内博物館施設連絡協議会



本シンポジウムは、ライブ配信ならびに後日ICOM日本委員会YouTubeにて公開予定です。



日本のミュージアムのための国際発信力向上推進事業実行委員会

本印刷物は、令和2年度文化芸術振興費補助金「地域と共同した美術館・歴史博物館創造活動支援事業」の支援を受けて作成しました。

ICOM京都大会 1周年記念シンポジウム

SDGsと博物館



写真はICOM京都大会の様子

ICOM京都大会の開催から1年が経ちますが、世界はコロナ禍の脅威にさらされ博物館にも深刻な影響をもたらしています。京都大会でも重要な課題として取上げられたSDGsと博物館の関係についても、今まさにコロナ禍を乗り越え博物館が持続的な発展を遂げていける道筋が問われています。

大会の開催から1周年を迎えるに際し企画した今回の記念シンポジウムでは、改めてSDGsのために博物館が果たすべき役割を再認識するとともに、ポストコロナ時代に向けた博物館政策の課題と展望について考察します。

プログラム

○ 開会あいさつ	銭谷 真美（日本博物館協会長）
○ 趣旨説明及び問題提起	栗原 祐司（ICOM日本委員会副委員長）
○ 基調講演	
	1「京都市におけるSDGsの取り組みについて」 門川 大作（京都市長）
	2「博物館とSDGs」 青柳 正規（ICOM日本委員会委員長）
○ パネル・ディスカッション	
モデレーター	半田 昌之（ICOM日本委員会事務局長）
パネリスト	浦野 義人（国際協力機構経済開発部主任調査役）
	中瀬 勲（兵庫県立人と自然の博物館長）
	松田 陽（東京大学大学院人文社会系研究科准教授）
	渡邊 里々子（公益財団法人京都市環境保全活動推進協会（京エコロジーセンター指定管理者）
○ 閉会あいさつ	佐々木 丞平（京都国立博物館長）

定員

関係者を含め80人までの事前予約制（申込み先着順）。
感染防止対策を講じます。

参加費

無料

京都国立博物館は庭園開放期間中のため、展示室は閉室



本シンポジウムは、ライブ配信ならびに後日ICOM日本委員会YouTubeにて公開予定です。



参加申込方法

参加ご希望の方は、電子メールにてICOM日本委員会事務局 icom@j-muse.or.jp 宛に、
つぎの内容を記してお申し込みください。事務局から参加の可否を含め返信メールをお送りします。

① 氏名 / ② 所属 / ③ メールアドレス / ④ 電話番号 / ⑤ ICOM会員か非会員の別